

『人生の方からは期待されている』～『人の役に立つと思う時は 進んでやれ』～

2026 年 9 月 11 日 定期的な病理組織診断業務に赴いた。『顕微鏡を見て病気を診断する＝森を診て木の皮まで診る』実践である。誤診は許されない厳粛な場である。wife は、自宅で『If —— table』で、『外国人、日本人との昼食会』を持った。

筆者は、9 月 12 日 順天堂大学に寄り、2012 年からスタートされた第 152 回『お茶の水メディカル・カフェ in OCC（お茶の水クリスチャン・センター）』に赴いた。個人面談の機会も与えられた。【人間は自分では『希望のない状況』であると思ったとしても、『人生の方からは期待されている存在』であると実感する深い学びの時が与えられている。『自分の力が 人の役に立つと思う時は 進んでやれ』。『涙とともに パンを食べた者でなければ 人生の味は分らない』（ゲーテ:1749-1832）、ゲーテを こよなく敬愛したスイスの作家 ヨハンナ・シュピリ（1827-1901）の『アルプスの少女ハイジ』の現代的意義は『喜んで 無邪気に 小さなことに大きな愛を込める』】と、さりげなく語った。

『お茶の水メディカル・カフェ』は、東日本大震災の 2011 年に創設準備がなされ、2012 年に当時 OCC 副理事長であった今は亡き榊原寛先生(79 歳で 2020 年 12 月 24 日ご逝去された)が始められた。筆者は、『順天堂大学医学部 病理・腫瘍学教授』時代の 2012 年 5 月 26 日に 第 1 回『お茶の水メディカル・カフェ』に出席したものである。

2024 年には、12 周年記念で『OCC カフェ 12 周年記念誌』が製本された(画像)。大いに感動した。【OCC メディカル・カフェ ニュースレター『賢明な寛容: the wise patience』】は毎月発行されている。最新の第 44 号(2026 年 8 月号)が、会場に置かれていた。筆者は、『ユーモア (You more) ～ 小さなことに 大きな愛を込める ～』の文章を寄稿した。この度、編集担当の『食いしん坊のコツメカワウソ(戸田祐子)』様から『OCC ニュースレター第 45 号』の原稿を依頼された。

【『訪れる人を 温かく迎え入れる＝喜んで大きな愛を込める』で、あらゆる人々が立場を超えて集う『交流の場』～ 温かく迎え入れる ～】が、『お茶の水メディカル・カフェの原点』であろう！ 来年(2027 年)には、『OCC カフェ 15 周年記念誌』が、制作されるようである。スタッフの皆様の【速効性と英断】の姿勢には、ただただ感服する。

筆者の講義、講演は『スルメ症候群：一度 聞いてもわからない 二度も 聞いてもわからない 三度 聞いて首傾げ 四度 聞いてうなずける あ～あ～ スルメ症候群 訳がわからんのがいいね！』と ニューモア溢れる言葉を頂く。今回は、大変有意義な充実した貴重な【第 4 期 その人の想いに寄り添うキーパーソン講座】となった。

**お茶の水がん哲学外来・
メディカルカフェ
in OCC
12 周年記念誌**

2024 年 7 月 20 日発行